

平成21年度
事業計画書

I. 事業計画	58
施設環境の整備	59
情報環境の整備	61
教育課程の充実	63
広報活動	64
収益事業	65
II. 設置校が取り組む事業計画	67
女子大学	67
中学校高等学校	68
III. 平成21年度事業計画の主な事業費及び実施予定	73
IV. 平成21年度跡見学園収支予算について	76
1. 平成21年度収支予算について	76
(1)資金収支予算書	76
(2)消費収支予算書	79

I. 事業計画

昨年9月から顕在化したアメリカの金融不安が瞬く間に地球を覆い、その影響から、日本でも、同時に信用収縮、投資抑制、消費急落、雇用削減等により、実体経済がかつてない深刻な打撃を受けつつあります。この「百年に一度」とまで言われるグローバル恐慌は、企業業績を劇的に悪化させているだけではなく、既に一部の学校法人でも資産運用に伴う巨額を含み損が発生しているように、私学もその影響の外ではありません。今後、学園経営の観点から、この長期化も懸念される未曾有の景気後退の影響拡大に対しては、我々も眼を凝らして注視していく必要があります。

学園といたしましては、昨年8月に女子大学の文京キャンパス新棟が完成し、10月から後期課程3～4年生が学ぶ文京キャンパスをリニューアル・オープンして、女性を社会の基幹分野に進出させるための高等教育の拠点を都心に確保するという、長年の念願を実現することができました。この文京キャンパス新棟の完成をもって、昭和62年の花菱生誕150年記念総合施設拡充計画を起点とする学園改革は、平成7年の短期大学名称変更以来の学園女子高等教育改革を含む22年の歳月を要しましたが、当初の構想どおり完成を見るに至りました。ご承知のとおり、この学園改革の間、中学高校校舎、跡見講堂、短大体育館、大学図書館、大学研究室棟、大学心理教育相談所、大学新学部棟、中学高校選択教室棟、文京キャンパス新棟が、新たな校舎として次々と建築されて来たところであります。

これら一連の教育改革を支えてきた学園財務は、昨今の報道にもあるような仕組み債等によるデリバティブ取引には一切関わっておらず、今回の文京キャンパス新棟建設後にあっても無借金で、支払資金についても問題のない財務状況であります。今日までの高い財務規律に裏打ちされた財務の健全性は、この間、関係の皆様から頂いた多大なるご支援とご協力の賜と深く感謝いたしております。

少子化が進み、帰属収支の悪化、定員割れ、さらには資産運用の失敗等に陥る私学が急増するなか、このたびの深刻な景気後退から家計収入がさらに悪化することに伴い、私学教育を取り巻く競争的環境は、これまで以上に一段と厳しくなっております。この意味から、既に機会あるごとに申し上げておりますが、学園にとって平成21年度は、まさに「我慢の年」と覚悟する必要があります。即ち、無駄を抑え支出の節減に努めながら堅実な財務基盤を維持しつつ、変化の予兆は見逃すことなく、将来に向け手堅い準備を平素から着々と進める「我慢の年」であります。

このような現状の基本認識を踏まえ、平成21年度の事業計画の柱については、次の項目を掲げることいたしました。

- ① 女子大学文京キャンパスの完成に伴う本格運用の円滑な実施
- ② 平成22年4月開学予定の文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科の開設準備
- ③ 完成する平成18年度カリキュラムの検証と学科増を伴う新カリキュラムの開発
- ④ 中学高校のカリキュラム改革の実効性を高め、募集・進学競争力の更なる充実向上
- ⑤ 学園基幹業務システムの稼働水準の向上、効率化による事務の適正な執行
- ⑥ 女子教育の社会的認識と評価の向上も視野に都心にある文京キャンパスの広報を一段と推進
- ⑦ 適正な評価を軸とする職員人事制度改革の推進

学園は、日本近代女子教育の先駆となった私立学校であります。この自覚に立ち、これまでの一連の教育改革の経験を継承しつつ、女子進学者の希望をかなえる形で、現代社会が女子教育（別学）に真に求めているものを探求し応えていくことの重要性については、改めて申すまでもありません。そのために必要な改革は、たとえ内部に痛みが伴っても、健全な財務基盤に立ち、学園の将来に向けて着々と準備を整えて行かなければなりません。引き続き、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【施設環境の整備】

女子大学関係

1. 新座キャンパス

① 仮設校舎の設置

平成18年度の新学科増（コミュニケーション文化学科及び生活環境マネジメント学科）に伴う学生数増加に対応するため、体育館駐車場脇に100名程度収容できる仮設教室3室を3年リースで設置したが、今後も本仮設教室の利用が見込まれるため、設置を継続する。

仮設教室：1号棟 360.72㎡、2号棟 180.36㎡

② 浄化槽整備工事

新座キャンパス全体の浄化槽定期整備のため、ばっ気ブロワー、調整ブロワー、調整ポンプ等の整備を行う。

③ 井水滅菌装置更新工事

薬品注入ポンプの経年劣化により故障したため機器を更新する。

④ 1号館サーバ機器室空調設備改修工事

空調機の長年の使用による冷房能力の低下により、サーバ機器への悪影響が懸念されるため機器を更新する。

⑤ 1号館・3号館サーバ室分電盤保護避雷器設置工事（主幹及び2次側）

雷などによる渦電流被害からサーバを保護するため避雷器を設置して雷害対策を行う。

⑥ 図書館入館管理システム設置

今後の地域開放に備えて、防犯対策及び利用者調査等のため、入館管理システムを設置する。

⑦ タイムレコーダー設置

身分証明書のICカード化に伴い、タイムレコーダーのネットワーク化により出退勤（労働時間）を管理する。

⑧ メールボックス（新学科設置）

平成22年4月1日付で文学部に現代文化表現学科、マネジメント学部で観光マネジメント学科を設置することに伴い準備する。

⑨ 研究室電話工事（新学科設置）

平成22年4月1日付で文学部に現代文化表現学科、マネジメント学部で観光マネジメント学科を設置することに伴い準備する。

⑩ 研究室備品（新学科設置）

平成22年4月1日付で文学部に現代文化表現学科、マネジメント学部で観光マネジメント学科を設置することに伴い準備する。

2. 文京キャンパス

① 食堂テラス改修工事

食堂外部テントの老朽化のため、鉄骨塗装及びテントの張替えを行う。また、ヒマラヤ杉が枯れたため伐採する。

② 1号館ELV改修工事（地震管制装置取付等）

地震管制装置を設置して地震発生時に自動的にエレベーターを最寄階に停止させ、利用者の安全を確保するとともに機器の損傷を防止する。併せてエレベーター内の改修を行う。

③ 1号館蛍光灯器具交換工事（安定器を含む）

現在使用中の蛍光器具の耐用年数は概ね10年とされているが、設置から20年が経過し劣化がすすんでいるため、教室内の全ての器具を更新する。

④ タイムレコーダー設置

身分証明書のICカード化に伴い、タイムレコーダーのネットワーク化により出退勤（労働時間）を管理する。

中学校高等学校関係

① 仮設体育倉庫リース料

女子大学の新棟建築に伴い、工事エリア内にあった体育倉庫を取り壊し、臨時の仮設倉庫を跡見講堂右脇通路にレンタルで設置したが、別途体育倉庫の確保が困難のため引き続き利用する。

② 蛍光灯器具交換工事（安定器を含む）

現在使用中の蛍光器具の耐用年数は概ね10年とされているが、平成2年の設置から経年劣化が進んでいるため、教室内の全ての器具を更新する。

③ 洋式便器のウォシュレット化（各トイレ1個）

各トイレ内の様式便器のウォシュレット化工事を行う。

④ 作法室廻り樹木改修

作法室は課外茶道、箏曲等の中学生の作法の授業に使用しているが、女子の情操教育を育む象徴的な空間として、平成20年度から3ヵ年計画で改修する。平成21年度は2年目になる。

⑤ タイムレコーダー設置

身分証明書のICカード化に伴い、タイムレコーダーのネットワーク化により出退勤（労働時間）を管理する。

⑥ 西側階段室壁面防水工事

中高棟西側階段室防水層の劣化により漏水が発生したため、防水工事を行う。併せて階段室壁面の塗装を行う。

⑦ 可動式防球ネット（50台）更新

中高グラウンドに設置する移動式防球ネットの経年劣化が進んでいるため更新する。

法人棟関係

① 2F 交換機器室空調設置工事

MDF（配線分配装置）及びサーバ機器の過熱予防のため単独の空調設備を設置する。

② 正門監視カメラ設置工事

安全強化の面から防犯対策として、法人棟壁面に正門に向けて監視カメラを設置する。

北軽井沢研修所関係

① テレビ更新

エントランスに設置する大型テレビ、管理人室及び教員室のテレビの経年劣化に伴い、機器を更新する。

② 炊事場用テーブル増設

中学1年生の校外授業（自然教室）で北軽井沢研修所を利用することに伴い、炊事場に調理用のテーブルを増設する。

③ 大型冷蔵庫更新

中学1年生の校外授業（自然教室）で北軽井沢研修所を利用することに伴い、調理室に大型冷蔵庫を設置する。

④ 観察の森トイレ増設

中学1年生の校外授業（自然教室）で北軽井沢研修所を利用することに伴い、既設のトイレを改修し、1基増設する。

⑤ 給湯ボイラー更新工事

給湯ボイラーの経年劣化のため、機器を更新する。

学生寮関係

① 寮生個室改修工事

平成2年9月1日の賃貸借契約から20年が経過し、平成22年9月から5ヵ年契約更新に伴い、寮生個室の内装改修工事及び什器等の入れ替えを行う。

② 食器保管庫更新

経年劣化により機器を更新する。

【情報環境の整備】

女子大学関係

1. 新座キャンパス

① HDD デジタルビデオカメラ（20式）更新

全学共通科目運営センターに設置するデジタルビデオカメラのリース期間満了に伴い、ビデオカメラ台を更新する。

② モノクロ複写機更新

花蹊記念資料館に設置するモノクロ複写機のリース期間満了に伴い、機器を更新する。

③ 2号館2171視聴覚教室 AV 機器購入

新座キャンパス2号館の2171視聴覚教室に設置する AV 機器等のリース期間満了に伴い、これらの機器を買取る。

④ 人文科学研究科貸与ノート PC（24式）更新

人文科学研究科に設置する院生貸出用 PC のリース期間満了に伴い、PC を更新する。

⑤ 人文科学研究科研究室ノート PC（2式）、プリンタ（1式）更新

人文科学研究科研究室に設置するノート PC 及びプリンタのリース期間満了に伴い、ノート PC 及びプリンタを更新する。

⑥ 人文科学研究科院生研究室プリンタ（4式）更新

人文科学研究科院生研究室に設置するプリンタのリース期間満了に伴い、プリンタを更新する。

⑦ 職員利用業務用 PC 更新

新座キャンパス及び文京キャンパスの大学事務職員が利用する PC のリース期間満了に伴い、約80台の PC 他プリンタ等の機器を更新する。

⑧ IC メッセンジャー出席ボード更新

リース期間満了に伴い機器を更新する。

⑨ RFID ラベルプリンタ更新

リース期間満了に伴い、機器を更新する。

⑩ 複写機更新

新座キャンパス教務課に設置するモノクロ複写機のリース期間満了に伴い、モノクロ複写機2式を更新する。

⑪ デジタルビデオカメラレコーダー更新

新座キャンパス教務課に設置するデジタルビデオカメラのリース期間満了に伴い、ビデオカメラを更新する。

⑫ 基幹業務システム（富士通）更新

大学基幹業務システムのリース期間満了に伴い、業務システムのバージョンアップ及びサーバ等の機器更新を行う。

⑬ 退館管理システム購入

新座キャンパス図書館に設置する退館管理システムのリース期間満了に伴い、同システムを買取る。

⑭ 図書館システム（日立）更新

大学図書館システムのリース期間満了に伴い、プログラムは既存のシステムは引き続き利用し、各

種サーバ・OPACPC 及び事務利用 PC 等の機器は更新する。

- ⑮ モノクロ複写機更新
新座キャンパス庶務課に設置するモノクロ複写機のリース期間満了に伴い、モノクロ複写機1式を更新する。
- ⑯ 郵便料金計器更新
新座キャンパス庶務課に設置する郵便料金計器のリース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑰ FAX 更新
新座キャンパス庶務課に設置する FAX のリース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑱ シュレッダー更新
新座キャンパス庶務課に設置するシュレッダーのリース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑲ 図書館視聴覚ホール機器購入
新座キャンパス図書館視聴覚ホールに設置する視聴覚機器のリース期間満了に伴い、プロジェクター等の機器を買取る。

2. 文京キャンパス

- ① 学生遠隔対面指導（テレビ会議）システム（24式）導入
デュアルキャンパスにおける学生との対面指導の補助装置として、テレビ会議システムを導入する。
- ② 2号館インタラクティブスペース PC（21式）追加設置
各階にインタラクティブスペースを設けて学生が自由に利用できる PC を配置するように設計してあるが、設計当初から設置するのではなく学生の利用に応じて置くこととしたところ、利用頻度が高いため PC を設置する。
- ③ 2号館ユニファイドビデオ端末（10台）追加設置
本システムは2号館の使用開始とともに新座キャンパスとのコミュニケーションのため31式を導入したが、効果が高いため増設する。

中学校・高等学校関係

- ① DELL-PC（1式）更新
国語科に設置する PC のリース期間満了に伴い、PC を更新する。
- ② 複写機（1式）更新
英語科に設置するモノクロ複写機のリース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ③ デジタル印刷機（3式）更新
庶務課に設置するデジタル印刷機のリース期間満了に伴い、印刷機を更新する。
- ④ 複写機（1式）更新
進路指導室に設置する複写機のリース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑤ 進路指導室生徒利用 PC（4式）更新
進路指導室に設置する検索用生徒利用 PC のリース期間満了に伴い、機器を更新する。
- ⑥ 入試広報室 Web サーバ更新
入試広報室に設置する合格発表用 Web サーバのリース期間満了に伴い、機器を更新する。

法人関係

- ① 就業情報（出退勤）システムサーバ設置
身分証明書の IC カード化に伴い、タイムレコーダーのネットワーク化により出退勤（労働時間）を管理する。
- ② 学園規程データベース化
学園規程集の残部数減少に伴い、規程をデータベース化して個人貸与中の規程集の差し替えをなくす。

③ ファイル暗号化ソフトウェア

データの無断持ち出し等による情報漏えいを防護するため、セキュリティーソフトを導入する。

【教育課程の充実】

女子大学関係

① 新カリキュラムの完成年度

平成18年度に新学科設置とともにスタートした新カリキュラムは、外部団体とも協力し、ネイティブ教員による実践的な応用英語のほか、学生及び社会人として必要とされるマナーについて実践を伴いつつ社会で通用する心と常識を修練する科目「ソーシャルマナー」等、大学1年生全員を対象とする「社会人形成科目」を中心に科目の新設を行った。

平成19度においてはカリキュラム進行2年目として、文学部にあっては、2年生全員を対象とした専門分野の研究の基礎となる力を培う科目として「研究入門」を、マネジメント学部にあっては、2年生全員を対象とし、科目の中にインターンシップを必須として組み込んだ「実践ゼミナール」を、全学共通科目にあっては、e-learningを取り入れた「英語マルチメディアレッスン」を開設した。いずれも前期課程（1・2年生）から後期課程（3・4年生）への橋渡しの役割を担った科目である。

平成20年度にあっては、9月の新棟完成とともに、10月より当該カリキュラム適用の3年生（平成20年度は3年生のみの限定措置）が文京キャンパスで学ぶこととなった。それに伴い、その前年度末の平成20年3月には、開学以来初の制度として、前期課程（新座キャンパス）から後期課程（文京キャンパス）に進級する際の「進級判定」が行われた。新座キャンパスにおける前期課程の科目は、基礎・入門・総論・基幹といった名称の科目区分・科目名で構成されているが、文京キャンパスにおける後期課程の科目は、各論・特殊講義・演習・展開といった専門的な、絞り込んだ内容の科目区分・科目名で構成されている。

平成21年度には、3・4年生が文京キャンパスで学ぶこととなり、念願であった「都心の女子大」としてのデュアルキャンパス化のスタートとともに、新カリキュラムも完成年度を迎えることとなる。茗荷谷の地は交通至便であり、就職活動をはじめ学生の諸活動の幅も拡がり、そこで学ぶ3・4年生にとっては、より一層教育効果が高まるものと期待される。

中学校・高等学校関係

① 新教育課程の実施

高度な大学進学実績を目指す方向に舵を切るため昨年度見直した教育課程を継続。

高校については、受験類型別高3選択パターンを明確にし、生徒が自らのパターンを決め、そのパターンの中で生徒が自分の進路に必要な科目を選択するとの観点に基づいて、「英語演習」の必修化及び「国語表現」の新設を軸とする新教育課程を再構築する。

中学校（1年は8クラス編成）の教育課程の改定については、中学1年の数学を4時間（週単位、以下同じ）から5時間に増やすため、音楽2時間及び美術2時間をそれぞれ0.5時間ずつ、合計1時間削って、数学の時間増に充てる。このことについては、平成23年の指導要領改定時に見直し、改めて全体のバランスをとっていく。

全校で、漢字検定（2級未取得者）及び英語検定（中学3年・3級未取得者、高校2年・2級未取得者）の受検を必修とする。

また、新教育課程の進度に遅れた生徒の救済のための補習については、中学1～3年について、週3日第7時限目を活用し、定期考査ごとに10～12名程度を指名することにより、国数英の3教科の補習をチームティーチングによって行う。

本年度、新たに英語特別クラスを設置し、更なる英語の学力向上を目指す。

高校については、高校1・2年生を対象に週1日第7時限目を活用し、1学年10～12名に対し、ネ

イティブスピーカーによる多読力、ライティング力、リスニング力強化の授業を行う。

中学については、中学2・3年生を対象に夏期休業中に5日（計20時間）、1学年2クラス（1クラス10～12名）に対し、ネイティブスピーカーによるリーディング力、ライティング力、スピーキング力強化の集中授業を行う。

また、全校で、G-TEC（スコア型英語検定試験）の受検を必修とする。

なお、従来から実施されている学校行事については、これを削減しないこととしている。

【広報活動】

① 『ブロッサム』の年2回刊行（27号、28号）

大学・中高の特色ある教育活動・教育改革の具体的紹介、デュアルキャンパスの様子、財務情報の公開等、さまざまな切り口から跡見の世界を広く伝える。（各回約65,000部制作、校友への発送約50,000部）

② Web環境の整備

学園ホームページの更新、校友メールマガジンの配信等の充実を図りつつ広報用のWeb環境を引き続き整備する。また、高校生の96%が所持している携帯を活用して、大学の情報をメールマガジンとして配信するなど、受験生に直結するWebによる広報の方法も考える。

③ 入試アドバイザーによる高校訪問の強化（10年目）

平成21年度も、進学説明会をはじめ、多様な広報媒体と連携して、引き続き入試アドバイザーによる高校訪問を強力に行い、志願者増の成果に結びつける。

④ 就職広報の充実

卒業生の採用価値を高めるため、実業界向け媒体への就職広報や企業人事担当者との就職懇談会を引き続き充実させる。

⑤ 文京キャンパスの完成を中心とした新たな広報の推進

ホームページ等の学園Webサイトを活用し、文京キャンパスの都会的なイメージを積極的に広報する。

⑥ 広報委員会による広報活動

平成18年度において、それまで各機関で独自に行っていた広報媒体を取捨選択し、映画館でのシネアドや丸の内線銀座駅集中ポスター・東横線渋谷駅巨大ポスターなどを一括運用することを試み、平成19年度もその方針を継続し、文京キャンパスの開校に伴うデュアルキャンパス化とメトロ副都心線の開業により渋谷～志木が一本に繋がることをイメージして作成した新たな「A」のロゴを用いた東横線渋谷駅における斬新なデザインの巨大ポスターの3週間掲出、アナウンサーやシンクロのメダリストなど働きながら子育てをしている著名な3人の女性をパネリストに迎えたシンポジウムの開催など、大規模企画の集中運用による広報活動を展開した。

平成20年度においても、その方針を継続し、東横線渋谷駅巨大ポスターの集中掲出、東急線エチケッボードへの通年での広告掲出を実施した。また、新しいロゴを用いたグッズとして、手提袋、ガム、ドロップ、手鏡を新規に制作し、オープンキャンパス、学校説明会等のさまざまな場面で配布した。なお、グッズの選択に際しては、平成19年度に300名を超える中高生のアンケート協力を得て、受験生の目線を重視したものを心がけるようにした。

平成20年度はさらに、受験生そのものではなく、その父親層をターゲットとした広告を初めて航空機内誌（全日空12月号）に掲出した。全日空としても女子大としては初めての掲載実績となったとのことである。また、文京キャンパスのリニューアル・オープンを記念して、働きながら子育てをしている著名な3人の女性をパネリストに迎えたシンポジウムを新棟のブロッサムホールにて開催し、ほぼ満席に近い400名の参加者を得た。

平成21年度においては、これまでの広報の継続性を重視した広報を展開しつつ、中高についても大きく採り上げ、受験生の保護者層及び塾関係者に積極的に広報展開し、それらを対象とした教育シンポジウムを複数回実施することも考えている。また、文部科学省への届出完了時点から、平成22年4

月開設予定の大学の2つの新学科についても併せて広報する。

⑦ 大学院広報の強化

雑誌広告などの掲出を通じて、社会一般における跡見学園女子大学の大学院の認知をより徹底させる。

⑧ メトロ副都心線の開業と広報活動

平成20年6月の東京メトロ副都心線の開業により、東上線志木駅から若者に人気のある街である池袋・新宿3丁目・原宿の各駅を経由して渋谷駅まで、急行で32分で乗り換えなしで繋がることを最大限に利用し、文京キャンパスはもとより新座キャンパスの利便性についても積極的に広報した。開業と同時に副都心線渋谷駅のホームに電飾看板を設置し、副都心線・有楽町線の新型車両のドア上メトロビジョンに動画広告を展開した。当該車両は東上線川越市駅、西武池袋線小手指駅方面にも乗り入れており、その広報範囲はメトロ線内にとどまらず郊外にまで及んでいる。

平成21年度も、これらの広報を継続実施するとともに、平成19年度から引き続いている城南地区・神奈川方面の受験生開拓に重点を置いた広報活動を展開する。

⑨ 雑誌等への広告掲載など

平成19年度においては、不定期ながら『読売ウィークリー』の表4(裏表紙)で2回、目次対向で1回の広告掲載を駅ポスターと同じ斬新なデザインで行った。

平成20年度においては、残念ながら『読売ウィークリー』は休刊となってしまったが、代わりに全日空の機内誌12月号にビジネスマンである受験生の父親層向けの斬新な広告を掲出した。

平成21年度についても、媒体・時期・予算等を総合的に勘案して、同様な企画には積極的に取り組みたい。

【収益事業】

(1) 事業概要

収益事業部(以下「事業部」という。)は、平成19年3月末の短期大学部の閉学により書籍等の売上減少となったが、同年度から音羽駐車場の賃貸契約の委託を従来の三菱UFJリースから東和不動産(従来からの指定業者)と直接委託契約をすることとなり、委託管理手数料が5%と、従来より20%縮減できている。

事業部の運営は専任職員2人とアルバイト職員1人で担当していて、専ら中学・高校の教材(教科書等その他指定用品)中心の販売であるが、従来に比べ縮少しているものの、昨年10月にオープンした大学新校舎に自販機3台を増設したことと、昼の弁当サービスにも工夫して、今年度は、これらの拡販成果に期待している。

<事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備(上履、校庭履、指定用品等)
 - 中学・高校生教科書販売
 - ランチ販売
 - 団体保険、損害保険代理店業務
 - 駐車場賃貸
 - 教師用教科書・指導書販売
- 5月 中学・高校生スポーツ大会飲料水販売
 - 中学学校説明会、幹事会・父母会等飲料水販売
 - 収益事業決算
- 7月 中学・高校生夏期休暇用教科書販売
 - 中学学校説明会入試問題集販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中学・高校生新年度用教科書・教材問合せ準備

- 10月 中学生・高校生体育祭飲料水販売
 中学・高校文化祭食堂出店・入試問題集販売
 中学学校説明会入試問題集販売
- 11月 中学・高校生新学期用教科書入荷
 中学・高校生用副教材発注準備・教師用指導書発注
 中学学校説明会入試問題集販売
- 12月 中学・高校生新学期用教科書入荷
 中学学校説明会入試問題集販売
 中学帰国生入試関係準備
- 1月 高校帰国生入試関係準備
 中学高校生新学期用副教材の発注
- 2月 中学入試期間物品・飲料水等販売
 中学新入生教科書・教材販売
 中学・高校在校生教科書申込・集計等
- 3月 中学・高校在校生教科書販売(2月下旬から3月上旬)
 中学・高校卒業式物品・飲料水等販売
 中学・高校生新学期用物品等準備
 予算編成

(2) 予算概要

(単位：千円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増・△減
経常収入			
商品売上利益	6,300	7,000	△ 700
書籍売上利益	3,800	4,000	△ 200
生保取扱手数料	150	210	△ 60
損保取扱手数料	800	813	△ 13
駐車場賃貸料収入	18,900	21,000	△ 2,100
不動産賃貸料収入	3,220	3,220	0
厚生貸付手数料収入	0	400	△ 400
雑収入	1,400	1,400	0
経常収入計	34,570	38,043	△ 3,473
販売費及び一般管理費			
人件費	19,500	18,900	600
委託管理費	945	1,050	△ 105
減価償却費	180	0	180
諸税公課	5,500	5,000	500
諸経費	3,000	3,000	0
販売費及び一般管理費計	29,125	27,950	1,175
営業利益	5,445	10,093	△ 4,648
当期純利益	5,445	10,093	△ 4,648

Ⅱ. 設置校が取り組む事業計画

【女子大学】

I. 教育研究

1. 学部等の改革

① 設置経過中の組織

文学部 コミュニケーション文化学科（4年目）

マネジメント学部 生活環境マネジメント学科（4年目）

② 平成22年度学科設置（届出）の準備

文学部 現代文化表現学科

マネジメント学部 観光マネジメント学科

③ 組織改革に伴う諸規程類の点検・整備

2. カリキュラムの改革

① 平成18年カリキュラムの年次進行（4年目）

② 平成22年度改革の準備

3. 文京キャンパスの本格稼働（3・4年生が揃う）

① デュアルキャンパス下の教育・事務体制の確立

4. 学生支援

① 学生会主催の学長対話集会の復活

② 一紫会による修学援助奨学金制度の確立

③ 文京キャンパスの居住性の向上

5. 教育研究支援

① 教育研究支援活動の充実

② FD活動の継続と職能開発

③ 教員評価の導入（2年目）

6. 保護者サービス

① 大学説明会の継続実施（2年目）

② 公開講座（教養講座）の保護者への案内

Ⅱ. 管 理

1. 大学管理の点検・整備

2. 事務組織の改革

① 職員研修の継続実施（3年目）

Ⅲ. 施設設備・環境整備

① 両キャンパス間の学生遠隔対面指導システムの整備

② 新座図書館入館システムの整備

③ 文京キャンパス1号館外庭の改修

④ キャンパス緑化の推進

Ⅳ. 広報・学生募集

① 文京キャンパス利用に伴う新規応募者の開拓

② 入試制度の改革

V. 学外団体との交流

1. 他大学との交流

① 既存の提携関係の継続

マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との協定

埼玉県大学協議会、彩の国大学コンソーシアム

米国アキナス大学・英国ロンドン大学・中国上海大学との提携

② 文京区内大学との交流

文京区による文京大学コンソーシアムの計画

お茶の水女子大学との提携構築

③ 国際交流拡充

英国スコットランドのスターリング大学との提携（夏期語学研修）

2. 地域との交流

① 新座市との連携

相互包括協定（平成20年締結）の実施、公開講座の開催、ピアサポーター・各種審議会委員・評議員の派遣などカウンセリング実習生の派遣

② 文京区との連携

公開講座の開催、審議会委員の派遣、インターンシップ生の派遣

3. 高等学校との交流（高大連携）

① 出張授業、評議員の派遣など

② 跡見高等学校との交流の模索

教員の交流（出講・懇親）、公開授業など

VI. 点検評価

1. 大学基準協会による大学評価

① 「受けた評価」の評価

② 『自己点検・評価報告書』の刊行

③ 平成27年度（次期大学評価）へ向けての方針の策定

2. 臨床心理士資格認定協会による第1種指定大学院指定3年目の実地視察

3. 今後の自己点検・評価体制

① 組織のあり方

② プログラム・年次計画

③ 恒常的活動、など

【中学校高等学校】

<基本方針> 平成21年度は、20年度事業計画を継続しつつ、特に教育目標達成のために教員の教育力の向上と教員の意識の向上を図る。

I. 教育目的

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスの取れた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践する。

II. 教育目標

上記の目的達成のため以下の教育目標を掲げる。

① 生活指導面

中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）

高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画

② 学習指導面

中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成

高校生：自己の進路目的に向けた学習応用力の養成

○ 教育目標の具体化～生活面

生活面においては集団における個、個と集団の関係は机上の学習のみでは習得が不可能である。そのため、昨年より新たに実践した事業を含め、従来から実践している事業を継続する。

① 全校的：全生徒 担任による個人面談の実施 (4月)

体育祭 (9月)

文化祭 (9月)

音楽会 (12月)

「シュトゥットガルト室内管弦楽団」演奏

ピアニスト 小菅 優 氏

遠足 (5月) 校外見学 (10月)

学年ごとに行動

海外語学研修 (7月～8月)

オーストラリア、クイーンズランド州イプスウィッチ、22日間

現地校の授業参加、少人数英語授業受講

スキー教室

② 中学生：コミュニケーションスキルの育成

③ 悩みを持つ生徒に対して：チームで取り組む (段階別に、担任、学年主任、保健主事、校務部長、主事、カウンセラー)

④ 危機管理に関する見直し：通常授業時、宿泊行事時、いじめ等生徒に対する効果的な「声かけ」を共有し、実施する

⑤ 中学1年：自然教室 北軽井沢にて3泊4日 (7月～8月)

鬼押出し園と溶岩樹型群・観察の森・孀恋郷土資料館・鎌原観音堂見学

⑥ 中学2年：自然教室 丸沼3泊4日 (6月)

湯滝・竜頭の滝見学、日光白根山登山、尾瀬ヶ原散策

⑦ 中学3年：修学旅行 広島2泊3日 (11月)

被曝体験者の方と一緒に平和記念公園にて碑めぐり、広島平和記念資料館見学、放射線影響研究所・広島大学原爆放射線医科学研究所・本川小学校訪問、大久野島フィールドワーク

⑧ 高校1年：オリエンテーション 箱根2泊3日 (4月)

職業調べ、外部講師・卒業生による講演、相談、グループワーク

⑨ 高校2年：研修旅行 奈良・京都4泊5日 (11月)

東大寺・法隆寺・奈良公園・東寺など見学、クラス別・グループ別行動

○ 教育目標の具体化～学習面

学習面では以下の事業を行う。

① 全 校：全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テスト (中学：ベネッセ 高校：河合塾 駿台予備校)、漢字検定・英語検定必修

② 中学生：茶道裏千家の作法習得

③ 中学生：国語・数学・英語 遅れてしまった生徒対象にチームティーチャーによる補習

④ 中学1年：8クラス

⑤ 中学2年～3年：英語は1クラス2分割

- ⑥ 高校生：受験体制を考え、精査された科目選択パターンを提示
 [国公立文系] 続世・日史→古典講読→数学演習→世・日史演習→国語演習Ⅱ→理科演習
 [私立文系] 続世・日史→古典講読→芸術Ⅲ→世・日史演習→国語演習Ⅱ→(国語表現)
 [国公立理系] 数学ⅢC→物理Ⅱ→数学演習B→理科演習→国語演習Ⅱ→理科演習
 [私立理系] 数学ⅢC→物理Ⅱ→数学演習B→理科演習→(31,32なし)→理科演習
- ⑦ 高校生：全学年「英語演習」必修
- ⑧ 高校1年：「英語演習Ⅰ」を学校設定科目とする
- ⑨ 高校2年：選択組み合わせの合理化
 例 国立理系センター対策とし「国語演習Ⅰ」を理系古典として特化、「芸術Ⅱ」との同時開講
- ⑩ 高校3年：受験指導の徹底を図る
 例 「国語表現」で充実した小論文指導を行う
- ⑪ 高校1年～高校3年：英語は2クラス3分割の習熟度別授業
- ⑫ 国語科：能・狂言、歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞、
- ⑬ 社会科：さきたま古墳、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴
- ⑭ 数学科：中学3年～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割
- ⑮ 理科：小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学
- ⑯ 家庭科：テーブルマナー、食卓作法講習会、江戸東京たてもの園見学
- ⑰ 音楽科：合唱コンクール
- ⑱ 英語科：スピーチコンテスト
- ⑲ 進路ガイダンス・キャリアガイダンスの充実を図るプログラムの作成（教務と進路の提携）
- ⑳ 個人の学習到達目標を6年のスパンとする学力試験への変更

- 対教員
 講師による研修の定例化
- 検討事項
 海外語学研修の充実

★「面倒見の良い教育を通して、受験体制へシフトし結果として偏差値を上昇させる」というグランドデザインを具体化するための新規事業

- 生活面
- ① ホームページを刷新し、学年行事・配布物等の情報を保護者が得やすいようにする
- ② 生徒会が主となり、生徒用サブバッグを製作
- ③ 生徒会が主となり、生徒用冬のコートを製作
- ④ 新入生出校日に新中学1年の担任と顔合わせをする

- 学習面
- ① 高校生 英語特別クラスの設置
 対 象 ：高校1年生・2年生 英語の成績優良者で希望する生徒
 日 時 ：週1回 7時限目相当
 クラス人数：高校1年生 1クラス (10～12名 年間35レッスン予定)
 高校2年生 1クラス (10～12名 年間35レッスン予定)
 授業内容：ネイティブスピーカーによる多読中心であるが、ライティング・リスニングも含む
 評 価：毎月、リーディング・ライティング・リスニングのスコアがつく
 費 用：教材費のみ徴収
- ② 中学生 英語夏期集中クラスの設置

- 対 象 : 中学2年生・3年生 英語の成績優良者で希望する生徒
 日 時 : 平成21年7月21日(火)～7月25日(土)5日間
 午前8:30～12:30
 クラス人数: 中学2年生 2クラス(1クラス 10～12名×2)
 中学3年生 2クラス(1クラス 10～12名×2)
 授業内容 : ネイティブスピーカーによるリーディング・ライティング・スピーキング力の強化
 費 用 : 教材費のみ徴収

- ③ 曜日の振替
 年間を通して授業曜日数を平均化する
 ④ 文化祭・体育祭の開催月変更
 学習に集中できるようにするため、文化祭・体育祭を10月から9月に移行

Ⅲ. 教員の教育力の向上をめざして

生徒の指導に当たる教員一人ひとりの能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して次の目標を掲げる。

- ① 教員の教科指導力の向上
- ② 教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上
- ③ 教員の協働意識の向上

上記の目標達成のために次の事業を行う。

- ① 教員の教科指導能力の向上のために
 - ・教員の相互授業参観ならびに意見交換
 - ・研究授業により自己研鑽
 - ・校長・主事により授業参観
 - ・生徒による授業評価
- ② 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力向上のために
 - ・若手と経験豊富な教員との教育実践の交流・意見交換
 - ・クレーム太陽セミナーの実施
- ③ 教員の協働意識の向上のために
 - ・新入生出校日に合わせた新人教員への訓話
 - ・各校務主任による新人教員への研修
 - ・校長の新任教職員への個人面談

Ⅳ. 入試広報関係

平成21年度入試の反省と22年度に向けて

- ① 平成22年度入試日程の変更及び募集人員変更に関する検討
- ② 平成22年度入試業務の抜本的な見直し
- ③ 学園広報委員会とタイアップし、4回のイベント実施

第1回	7月2日(木) 朗読劇「夏の雲は忘れない」	跡見李子記念講堂	
	夏の会(女優)		10:30～12:30
第2回	9月26日(土) 講演「思春期の子供たちに対する接し方」		
	鈴木 眞理(本校校医)	跡見李子記念講堂	15:00～16:30
第3回	11月14日(土) シンポジウム「マイライフ」		
	山崎 一穎 校長・本校卒業生4名	跡見李子記念講堂	14:00～15:30
第4回	2月(日程未定) シンポジウム		

④ 学校説明会日程表

○ 外部主催

4月29日(水)	女子高アンサンブル	学習院女子大学
5月11日(月)	東京私立女子中学校合同相談会	渋谷セルリアンタワー
5月17日(日)	東京私立女子中学校合同相談会	所沢くすのきホール
5月17日(日)	ベネッセ国際フォーラム合同相談会	国際フォーラム
6月14日(日)	文京区私立中学高等学校連合進学説明会	文京シビックホール
6月20日(土)	東京私立女子中学校合同相談会	浦和コルソ
6月21日(日)	受験なんでも相談会	新宿NSビル
7月5日(日)	日能研 学校フェア	(東京会場+神奈川会場)
7月16日(木)	私立中高受験相談	文京シビックホール
7月30日(木)	帰国生のための学校説明会・相談会	青少年総合センター
8月22日(土)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
8月23日(日)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
9月6日(日)	TOMAS 受験相談会	新宿NSビル
10月18日(日)	池袋進学相談会	池袋サンシャイン
10月23日(金)	私立中高受験相談	北トピア
12月13日(日)	学校説明会	大原学園

○ 本校主催

5月7日(木)	塾の先生対象	10:30～12:20
5月16日(土)	保護者対象	10:30～12:30
6月13日(土)	小学生対象 クラブ発表会	14:00～16:00
7月4日(土)	保護者対象	10:30～12:30
9月11日(金)	保護者対象	18:00～
9月19日(土)	保護者対象 (文化祭)	9:00～16:00
9月20日(日)	保護者対象 (文化祭)	9:00～16:00
10月19日(月)	塾の先生対象	10:30～12:20
11月7日(土)	保護者対象	10:30～12:30
11月21日(土)	小学生対象 体験授業	14:00～16:00
12月5日(土)	保護者対象	10:30～12:30

○ 本校における各塾主催

・SAPIX	5月14日(木)	10:30～12:20
・TOMAS	5月25日(月)	10:30～12:20
・市進	5月18日(月)	10:30～12:20
・栄光ゼミナール	6月4日(木)	10:30～12:20
・四谷大塚	11月15日(日) 含 模擬試験	8:30～11:30
	12月13日(日) 含 模擬試験	8:30～11:30
・日能研	12月6日(日) 含 模擬試験	8:30～11:30

Ⅲ. 平成21年度事業計画の主な事業費及び実施予定

【施設環境の整備】

新座キャンパス

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
大学	仮設校舎の設置（継続）	4,720	年間リース料	3教室各100名収容
	浄化槽整備工事	2,790	8月	定期整備
	井水滅菌装置更新工事	473	5月	
	1号館サーバ機器室空調設備改修工事	1,050	5月	
	1号館・3号館サーバ室分電盤保護避雷器設置工事 (主幹及び2次側)	2,730	8月	
	図書館入館管理システム設置	4,284	8月	
	タイムレコーダ設置	182	10月	
	新学科設置関係		3月	
	メールボックス設置	144		
	研究室電話工事	100		
研究室備品設置	3,500			

文京キャンパス

(単位：千円)

大学	食堂テラス改修工事			
	テント張替え工事	3,465	4月	
	樹木伐採工事	2,861	8月	ヒマラヤ杉3本他
	什器	1,500	9月	テーブル・椅子
	1号館関係		8月	
	E L V改修工事	4,410		地震管制装置取付他
	蛍光灯器具交換工事	12,000		安定器を含む
	タイムレコーダ設置	182	10月	

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
中高	仮設体育倉庫設置（継続）	668	年間リース料	
	蛍光灯器具交換工事	22,000	8月	安定器を含む
	洋式便器のウォシュレット化工事	1,600	8月	各便所1個
	作法室廻り樹木改修工事	5,500	5月	
	タイムレコーダ設置	182	10月	
	西側階段室壁面防水工事	5,000	8月	内壁塗装を含む
	可動式防球ネット購入（50台）	2,100	4月	授業利用（体育科）

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
法人	2F交換機器室空調設置工事	1,050	5月	
	正門監視カメラ設置工事（1基）	1,500	5月	

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
北軽井沢 研修所	北軽井沢研修所関係			
	テレビ購入（4台）	640	7月	
	炊事場用テーブル購入	300	7月	調理台
	大型冷蔵庫購入（1台）	714	7月	
	給湯ボイラー更新工事	5,700	6月	
	観察の森トイレ増設（1基）	935	6月	

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
学生寮	学生寮個室改修工事			
	個室内装改修工事	14,000	3月	
	個室内什器更新	15,800	3月	
	食器保管庫購入	700	4月	

【情報関係の整備】

新座キャンパス

(単位：千円)

機 関	事 業 項 目	事業費	実施時期	備 考
大学	HDDデジタルビデオカメラ購入（20式）	2,490	4月	
	モノクロ複写機購入（4式）	3,985	4月	
	2号館2171視聴覚教室 AV 機器（買取）	477	8月	
	人文科学研究科関係		4月	
	学生貸与ノートPC購入（24式）	6,943		
	研究室ノートPC購入（2式）	343		
	研究室プリンター購入（1式）	121		
	院生研究室プリンター購入（4式）	483		
	職員利用業務用PC更新	33,291	7月	
	IC メッセンジャー出席ボード購入	1,269	4月	
	RFID ラベルプリンター購入	73	4月	
	デジタルビデオカメラレコーダ購入	390	4月	
	基幹業務システム（富士通）更新	73,281	9月	補助金申請予定
	退館管理システム買取	348	6月	
	図書館システム（日立）更新	71,051	9月	
	郵便料金計器購入	635	4月	
	FAX 機購入	279	4月	
	シュレッダー購入	337	4月	
図書館視聴覚ホール機器買取	410	4月		

文京キャンパス

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期	備考
大学	2号館関係		9月	
	学生遠隔対面指導(テレビ会議)システム導入(24式)	43,910		補助金申請予定
	インタラクティブスペース PC 追加設置(21式)	6,405		
	ユニファイドビデオ端末追加(10式)	635		

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期	備考
中高	DELL - PC 購入(1式)	130	6月	
	複写機購入(2式)	1,128		
	デジタル印刷機購入(3式)	1,891	4月	
	進路指導室生徒利用 PC 購入(4式)	630	8月	
	入試広報室 WEB サーバ更新	550	1月	

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期	備考
法人	就業情報(出退勤)システム導入	189	4月	
	学園規程データベース化	1,350	4月	
	ファイル暗号化ソフトウェア購入	912	4月	

【広報活動】

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期	備考
法人	プロッサム発行・郵送	15,690	7月、1月	
	WEB 環境の整備 (校友メールマガジン配信、ウェルカムナビ等)	5,407	通年	
	イメージ広告等			
	①駅ポスター・機内誌等へのイメージ広告	15,080	随時	東横渋谷駅 Big10 など
	②中高受験雑誌、父親層向け経済誌等への広告	5,615	随時	ダイヤモンドなど
	③グッズ制作(手提袋、ドロップ、ガム、鏡、文房具)	6,136	4～5月	オープンキャンパスにて配付
	教育シンポジウムの実施	3,000	年3回	
大学	クリスマスカード送付(ダイレクトメール)	1,043	12月	
	高校教員対象進学説明会	900	6月	
	新聞入試連合広告(朝日新聞)、雑誌広告、電車内広告等	9,901	随時	
	大学院募集広告	916	随時	
	就職関係雑誌広告	1,470	随時	
	就職懇談会	1,200	11月	
大学・中高	検定料コンビニ振込	946	9～3月	
中高	新聞広告、電車内広告など	2,639	随時	
	DM	820	12月	
	塾対象進学説明会	651	随時	

Ⅳ. 平成21年度跡見学園収支予算について

1. 平成21年度収支予算書

(1) 資金収支予算書

平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	5,415,723,000	5,202,325,000	213,398,000
授業料収入	3,853,677,000	3,731,242,000	122,435,000
入学金収入	504,050,000	482,138,000	21,912,000
実験実習料収入	25,726,000	14,041,000	11,685,000
施設設備資金収入	965,538,000	910,140,000	55,398,000
冷暖房費収入	66,732,000	64,764,000	1,968,000
手数料収入	106,965,000	105,450,000	1,515,000
入学検定料収入	100,655,000	99,140,000	1,515,000
証明手数料収入	1,910,000	1,910,000	0
大学入試センター試験実施手数料収入	4,400,000	4,400,000	0
寄付金収入	172,900,000	182,900,000	△ 10,000,000
特別寄付金収入	27,414,000	32,414,000	△ 5,000,000
一般寄付金収入	145,486,000	150,486,000	△ 5,000,000
補助金収入	733,810,000	717,512,000	16,298,000
国庫補助金収入	278,871,000	262,652,000	16,219,000
地方公共団体補助金収入	449,808,000	449,808,000	0
都私学財団補助金収入	5,131,000	5,052,000	79,000
資産運用収入	55,000,000	48,000,000	7,000,000
受取利息・配当金収入	55,000,000	48,000,000	7,000,000
事業収入	148,395,000	160,735,000	△ 12,340,000
補助活動収入	148,395,000	160,735,000	△ 12,340,000
雑収入	77,657,000	267,262,000	△ 189,605,000
雑収入	4,296,000	17,396,000	△ 13,100,000
東京都私学財団交付金収入	24,644,000	122,894,000	△ 98,250,000
私立大学退職金財団交付金収入	48,717,000	126,972,000	△ 78,255,000
前受金収入	1,367,917,000	1,367,917,000	0
授業料前受金収入	554,274,000	554,274,000	0
入学金前受金収入	492,375,000	492,375,000	0
施設設備資金前受金収入	292,960,000	292,960,000	0
冷暖房費前受金収入	13,308,000	13,308,000	0
補助活動前受金収入	15,000,000	15,000,000	0

その他の収入	350,522,000	1,019,854,000	△ 669,332,000
退職給与引当特定資産からの繰入収入	80,138,000	331,725,000	△ 251,587,000
建物償却引当特定資産からの繰入収入	0	473,700,000	△ 473,700,000
備品償却引当特定資産からの繰入収入	0	13,000,000	△ 13,000,000
前期末未収入金収入	220,384,000	151,429,000	68,955,000
貸付金回収収入	50,000,000	50,000,000	0
資金収入調整勘定	△ 1,441,278,000	△ 1,580,777,000	139,499,000
期末未収入金	△ 73,361,000	△ 220,384,000	147,023,000
前期末前受金	△ 1,367,917,000	△ 1,360,393,000	△ 7,524,000
前年度繰越支払資金	7,158,723,000	7,761,532,000	△ 602,809,000
収入の部合計	14,146,334,000	15,252,710,000	△ 1,106,376,000

支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費支出	3,387,952,000	3,550,864,000	△ 162,912,000
教員人件費支出	2,208,221,000	2,139,069,000	69,152,000
職員人件費支出	1,051,890,000	1,047,655,000	4,235,000
役員報酬支出	47,703,000	32,415,000	15,288,000
退職金支出	80,138,000	331,725,000	△ 251,587,000
教育研究経費支出	1,242,858,000	1,238,309,000	4,549,000
準備品費支出	1,742,000	880,000	862,000
消耗品費支出	91,946,000	83,304,000	8,642,000
光熱水費支出	137,298,000	128,758,000	8,540,000
通信運搬費支出	26,414,000	26,474,000	△ 60,000
福利費支出	24,008,000	28,944,000	△ 4,936,000
出版物費支出	47,686,000	46,902,000	784,000
印刷製本費支出	51,730,000	52,190,000	△ 460,000
旅費交通費支出	33,457,000	31,337,000	2,120,000
奨学費支出	28,317,000	28,317,000	0
修繕費支出	31,213,000	41,385,000	△ 10,172,000
施設取壊費支出	0	6,000,000	△ 6,000,000
保険料支出	3,210,000	3,136,000	74,000
賃借料支出	190,502,000	198,680,000	△ 8,178,000
諸会費支出	9,828,000	10,006,000	△ 178,000
学生・生徒会補助金支出	3,823,000	3,823,000	0
広告費支出	5,963,000	5,842,000	121,000
会議費支出	365,000	300,000	65,000
食事費支出	8,932,000	7,752,000	1,180,000
支払手数料支出	6,545,000	6,704,000	△ 159,000
教育実習謝礼支出	805,000	950,000	△ 145,000
渉外費支出	3,074,000	3,695,000	△ 621,000

業務委託費支出	535,688,000	522,584,000	13,104,000
雑費支出	312,000	346,000	△ 34,000
管理経費支出	801,817,000	740,118,000	61,699,000
準備品費支出	6,800,000	292,000	6,508,000
消耗品費支出	34,499,000	25,555,000	8,944,000
光熱水費支出	21,625,000	24,375,000	△ 2,750,000
通信運搬費支出	13,670,000	12,136,000	1,534,000
福利費支出	8,915,000	9,607,000	△ 692,000
出版物費支出	3,470,000	3,508,000	△ 38,000
印刷製本費支出	32,906,000	28,007,000	4,899,000
旅費交通費支出	22,589,000	20,666,000	1,923,000
修繕費支出	31,960,000	14,877,000	17,083,000
保険料支出	906,000	936,000	△ 30,000
賃借料支出	136,784,000	134,613,000	2,171,000
公租公課支出	3,251,000	3,245,000	6,000
諸会費支出	8,402,000	8,245,000	157,000
広告費支出	137,212,000	117,235,000	19,977,000
会議費支出	1,957,000	2,018,000	△ 61,000
食事費支出	4,284,000	4,496,000	△ 212,000
支払手数料支出	9,955,000	9,955,000	0
渉外費支出	8,546,000	8,791,000	△ 245,000
業務委託費支出	313,916,000	311,386,000	2,530,000
雑費支出	170,000	175,000	△ 5,000
施設関係支出	106,563,000	1,571,847,000	△ 1,465,284,000
建物支出	96,663,000	1,474,827,000	△ 1,378,164,000
構築物支出	9,900,000	81,795,000	△ 71,895,000
建設仮勘定支出	0	15,225,000	△ 15,225,000
設備関係支出	245,804,000	244,680,000	1,124,000
教育研究用機器備品支出	207,008,000	208,700,000	△ 1,692,000
その他の機器備品支出	9,996,000	12,180,000	△ 2,184,000
図書支出	28,800,000	23,800,000	5,000,000
資産運用支出	700,000,000	700,000,000	0
退職給与引当特定資産への繰入支出	200,000,000	200,000,000	0
建物償却引当特定資産への繰入支出	300,000,000	300,000,000	0
法人維持特定資産への繰入支出	200,000,000	200,000,000	0
その他の支出	76,000,000	69,050,000	6,950,000
前払金支払支出	18,000,000	10,050,000	7,950,000
前期末未払金支出	58,000,000	59,000,000	△ 1,000,000
[予備費]	50,000,000	50,000,000	0
資金支出調整勘定	△ 78,000,000	△ 70,881,000	△ 7,119,000
期末未払金	△ 58,000,000	△ 58,000,000	0

前期末前払金	△ 20,000,000	△ 12,881,000	△ 7,119,000
次年度繰越支払資金	7,613,340,000	7,158,723,000	454,617,000
支出の部合計	14,146,334,000	15,252,710,000	△ 1,106,376,000

(1) 消費収支予算書

平成21年 4月1日から
平成22年 3月31日まで

消費収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	5,415,723,000	5,202,325,000	213,398,000
授業料	3,853,677,000	3,731,242,000	122,435,000
入学金	504,050,000	482,138,000	21,912,000
実験実習料	25,726,000	14,041,000	11,685,000
施設設備資金	965,538,000	910,140,000	55,398,000
冷暖房費	66,732,000	64,764,000	1,968,000
手数料	106,965,000	105,450,000	1,515,000
入学検定料	100,655,000	99,140,000	1,515,000
証明手数料	1,910,000	1,910,000	0
大学入試センター試験実施手数料	4,400,000	4,400,000	0
寄付金	172,900,000	182,900,000	△ 10,000,000
特別寄付金	27,414,000	32,414,000	△ 5,000,000
一般寄付金	145,486,000	150,486,000	△ 5,000,000
補助金	733,810,000	717,512,000	16,298,000
国庫補助金	278,871,000	262,652,000	16,219,000
地方公共団体補助金	449,808,000	449,808,000	0
都私学財団補助金	5,131,000	5,052,000	79,000
資産運用収入	55,000,000	48,000,000	7,000,000
受取利息・配当金	55,000,000	48,000,000	7,000,000
事業収入	148,395,000	160,735,000	△ 12,340,000
補助活動収入	148,395,000	160,735,000	△ 12,340,000
雑収入	53,013,000	144,368,000	△ 91,355,000
雑収入	4,296,000	17,396,000	△ 13,100,000
私立大学退職金財団交付金	48,717,000	126,972,000	△ 78,255,000
帰属収入合計	6,685,806,000	6,561,290,000	124,516,000
基本金組入額合計	△ 352,367,000	△ 1,791,027,000	1,438,660,000
消費収入の部合計	6,333,439,000	4,770,263,000	1,563,176,000

消費支出の部

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費	3,457,814,000	3,376,618,000	81,196,000
教員人件費	2,208,221,000	2,139,069,000	69,152,000
職員人件費	1,051,890,000	1,047,655,000	4,235,000
役員報酬	47,703,000	32,415,000	15,288,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	157,479,000	△ 7,479,000
教育研究経費	2,034,251,000	2,000,054,000	34,197,000
準備品費	1,742,000	880,000	862,000
消耗品費	91,946,000	83,304,000	8,642,000
光熱水費	137,298,000	128,758,000	8,540,000
通信運搬費	26,414,000	26,474,000	△ 60,000
福利費	24,008,000	28,944,000	△ 4,936,000
出版物費	47,686,000	46,902,000	784,000
印刷製本費	51,730,000	52,190,000	△ 460,000
旅費交通費	33,457,000	31,337,000	2,120,000
奨学費	28,317,000	28,317,000	0
修繕費	31,213,000	41,385,000	△ 10,172,000
施設取壊費	0	6,000,000	△ 6,000,000
保険料	3,210,000	3,136,000	74,000
賃借料	190,502,000	198,680,000	△ 8,178,000
諸会費	9,828,000	10,006,000	△ 178,000
学生生徒会補助金	3,823,000	3,823,000	0
広告費	5,963,000	5,842,000	121,000
会議費	365,000	300,000	65,000
食事費	8,932,000	7,752,000	1,180,000
支払手数料	6,545,000	6,704,000	△ 159,000
教育実習謝礼	805,000	950,000	△ 145,000
渉外費	3,074,000	3,695,000	△ 621,000
業務委託費	535,688,000	522,584,000	13,104,000
雑費	312,000	346,000	△ 34,000
減価償却額	791,393,000	761,745,000	29,648,000
管理経費	861,910,000	807,364,000	54,546,000
準備品費	6,800,000	292,000	6,508,000
消耗品費	34,499,000	25,555,000	8,944,000
光熱水費	21,625,000	24,375,000	△ 2,750,000
通信運搬費	13,670,000	12,136,000	1,534,000
福利費	8,915,000	9,607,000	△ 692,000
出版物費	3,470,000	3,508,000	△ 38,000
印刷製本費	32,906,000	28,007,000	4,899,000
旅費交通費	22,589,000	20,666,000	1,923,000
修繕費	31,960,000	14,877,000	17,083,000

保険料	906,000	936,000	△ 30,000
賃借料	136,784,000	134,613,000	2,171,000
公租公課	3,251,000	3,245,000	6,000
諸会費	8,402,000	8,245,000	157,000
広告費	137,212,000	117,235,000	19,977,000
会議費	1,957,000	2,018,000	△ 61,000
食事費	4,284,000	4,496,000	△ 212,000
支払手数料	9,955,000	9,955,000	0
渉外費	8,546,000	8,791,000	△ 245,000
業務委託費	313,916,000	311,386,000	2,530,000
雑費	170,000	175,000	△ 5,000
減価償却額	60,093,000	67,246,000	△ 7,153,000
資産処分差額	5,100,000	43,526,000	△ 38,426,000
建物処分差額	0	21,026,000	△ 21,026,000
教育研究用機器備品処分差額	3,000,000	19,000,000	△ 16,000,000
その他の機器備品処分差額	500,000	2,000,000	△ 1,500,000
図書処分差額	1,600,000	1,500,000	100,000
[予備費]	50,000,000	50,000,000	0
消費支出の部合計	6,409,075,000	6,277,562,000	131,513,000
当年度消費支出超過額	75,636,000	1,507,299,000	△ 1,431,663,000
前年度繰越消費支出超過額	4,334,526,000	2,827,227,000	1,507,299,000
翌年度繰越消費支出超過額	4,410,162,000	4,334,526,000	75,636,000

可 決 承 認 日

◎平成21年度跡見学園事業計画及び収入支出予算

平成21年3月24日 第301回 評議員会
第344回 理 事 会

◎平成20年度跡見学園事業実績の報告及び収支決算報告

平成21年5月26日 第302回 評議員会
第345回 理 事 会

跡見学園法人事務局 総務部庶務課



跡見学園報 第48号 別冊

発行日 平成21年7月16日

編集 跡見学園法人事務局

発行 学校法人跡見学園

〒112-8629

東京都文京区大塚一丁目5番9号

電話 03-3941-8161

FAX 03-3941-8162

URL : <http://www.atomi.ac.jp>